

様式 1

参考：記入例

受付番号： \_\_\_\_\_

## 第 8 回なら・未来創造基金 申請書

2010年 4月10日

特定非営利活動法人 奈良NPOセンター 御中

(〒630-8317)

住 所 奈良市井上町11番地

申請者 団 体 名 身近な観光資源研究会

代表者職・氏名 会長 奈良町 花子 印

第7回なら・未来創造基金の助成を受けたいので、下記のとおり申請します。

申請区分 (どちらかに 印をつけてください)	研究 ・ プロジェクト								
テーマ	身近な資源を生かした観光研究								
実施期間	2010年 7月 1日~2011年 6月30日	助成希望額	5	0	0	0	0	0	円

申請事業の趣旨と概要 (様式3「申請の概要」のポイントを要約して簡潔に記入してください)

有名な神社仏閣だけではなく、私たちが住んでいる身近な環境の中にある資源を見直して、その潜在的な魅力を引き出して、新たな観光スポットとするための調査研究を行います。

素通りの物見遊山ではない、じっくり学べる観光の拠点が「奈良」だと言われるようにするための基礎的研究にしたいと思います。

連絡担当者

住所 (〒630-8317) 奈良市井上町11番地

氏名 奈良町 花子

TEL 0742-20-5027

FAX 0742-20-5028

Eメール [info@naranpo.jp](mailto:info@naranpo.jp)

様式 2

申請の概要

団体名：身近な観光資源研究会

テーマ	身近な資源を生かした観光研究
実施期間	2010年 7月 1日～ 2011年 6月 30日

研究またはプロジェクトの目的

これまで奈良の観光は、昔からある有名な神社仏閣を巡ることだけがイメージされてきました。しかし、奈良の魅力は、そこに住む現代の奈良人が生み出しているものの中にこそあると言えます。

私たちが住む身近な環境のなかにある潜在的な魅力を秘めた人やものを掘り起こす調査研究を行います。身近な魅力をつなぎ合わせて学びの回廊とすることによって、奈良を滞在型観光の拠点とすることをめざします。

研究またはプロジェクトの特徴または創造性

現在の観光に疑問を感じた人たちが集い、研究者を巻き込んで、単なる嘆きに終わらせることなく、新しい奈良の魅力づくりに立ち上がったことです。

研究またはプロジェクトが奈良に及ぼすことが期待される効果

今の観光のあり方はおかしい、しかしどうしたらいいのかという思いを抱いている人は多いはずです。私たちの研究を通じて、新しい奈良の魅力づくりの例が示せば、そういう資源は我々のところにもある、と各地で資源の掘り起こしが始まることにつながります。それらを学びの回廊としてネットワークすれば、奈良の新しい観光イメージをつくり上げることができます。

研究またはプロジェクトの内容

---

研究委員会の開催

第1回(2010年7月)

身近な魅力を掘り起こすための手法の開発、調査方法の検討

第2回(2010年10月)

調査の中間報告を受け、以後の調査方法の検討

第3回(2011年1月)

調査結果の検討と、フォーラムの内容検討

第4回(2011年3月)

調査報告書内容確認とフォーラムでの役割確認

魅力調査の実施

身近な環境にある魅力あふれる人やものを掘り起こす調査を奈良県下全域で行います。

リレー式で魅力ある人を紹介してもらって、会員が順次訪問調査する方法で行います。

フォーラムの開催(2011年4月)

新しい視点で奈良の観光をとらえ直す必要を語ってもらう基調講演と調査で掘り起こされた魅力あふれる人たちにパネリストになってもらうパネルディスカッションを行います。

報告書の発行

魅力調査の結果、研究委員会の検討内容、フォーラムの記録などをまとめた報告書を作成します。これまでの観光に関する団体や個人にも配布し、新しい視点で観光をとらえ直すきっかけづくりに役立てていただきます。

---

研究またはプロジェクトのスケジュール

年 月	
2010年7月（助成開始）	第1回研究委員会
8月	魅力調査の実施（8月～12月）
9月	
10月	第2回研究委員会
11月	
12月（中間報告）	
2011年1月	第3回研究委員会
2月	
3月	第4回研究委員会
4月	“新しい奈良の魅力・観光フォーラム”の開催
5月	
6月	報告書の発行
7月	
8月（最終報告）	

研究またはプロジェクトの予算

収 入

項 目	金 額 (円)	内 訳
事業収入	1 0 0 , 0 0 0	1,000 円×100 人
自己資金	5 0 , 0 0 0	
なら・未来創造基金助成金	5 0 0 , 0 0 0	
合 計	6 5 0 , 0 0 0	

支 出

項 目	金 額 (円)	内 訳
謝 金	6 0 , 0 0 0	フォーラム講師謝金 30,000 円×1 人 10,000 円×3 人
賃 金	1 4 0 , 0 0 0	調査及び報告書作成アルバイト賃 金 7,000 円×延べ 20 日
交通費	2 0 0 , 0 0 0	調査交通費 150,000 円 フォーラム講師交通費 50,000 円
消耗品費	2 0 , 0 0 0	文具等
通信費	3 0 , 0 0 0	郵送料等
印刷費	2 0 0 , 0 0 0	報告書印刷費 150,000 円 フォーラムチラシ、資料等印刷費 50,000 円
合 計	6 5 0 , 0 0 0	

研究またはプロジェクトの実施体制

氏 名	所属団体名等	研究またはプロジェクトにおける役割
奈良町 花 子	身近な観光資源研究会	代表
東大寺 太 郎	奈良観光大学	研究委員会委員長
春 日 櫻 子	奈良観光大学	研究委員・調査チーム代表
興福寺 一 郎	身近な観光資源研究会	調査チーム
西大寺 幸 子	身近な観光資源研究会	調査チーム
薬師寺 幸 男	国際交流なら	研究委員
元興寺 燈 子	観光ボランティア会	研究委員
平 城 宮 子	身近な観光資源研究会	事務局

様式 3

申請団体の概要

ふりがな 団 体 名	みぢかなかんこうしげんけんきゅうかい 身近な観光資源研究会
ふりがな 代表者職・氏名	かいちょう ならまち はなこ 会長 奈良町 花子
住 所	(〒630 - 8317) 奈良市井上町11番地
TEL・FAX	TEL(0742 - 20 - 5027) FAX(0742 - 20 - 5028)
ホームページ・アドレス	http://www.naranpo.jp
団 体 の 種 別 ( 印をしてください)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社団法人</li> <li>・財団法人</li> <li>・特定非営利活動法人</li> <li>・社会福祉法人</li> <li>・企業</li> <li>・法人格なし</li> <li>・その他 ( )</li> </ul>
設 立 年 月	2004年 3月
活 動 分 野 ( 該当するものに 印をつけてください。 複数可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健、医療、福祉</li> <li>・社会教育</li> <li>・まちづくり</li> <li>・学術、文化、芸術、スポーツ</li> <li>・環境保全</li> <li>・災害救援</li> <li>・地域安全</li> <li>・人権擁護、平和の推進</li> <li>・国際協力</li> <li>・男女共同参画社会の形成促進</li> <li>・子どもの健全育成</li> <li>・情報化社会の発展</li> <li>・科学技術の振興</li> <li>・経済活動の活性化</li> <li>・職業能力開発、雇用機会の充実支援</li> <li>・消費者の保護</li> <li>・他団体の活動支援</li> <li>・その他 ( )</li> </ul>
会 員 数	団体会員 ( 3 団体 ) ・ 個人会員 ( 10 人 )
ス タ ッ プ	専従スタッフ 有 ・ 無 ( どちらかに 印をつけてください ) 有の場合の人数 ( 人 )

---

## 設立目的

これまでの神社仏閣を中心とする奈良の観光に加えて、私たち現代を生きる奈良人の魅力を掘り起こし、アピールすることによって、奈良をじっくり学んでもらえる、滞在型観光の拠点にするための調査研究を行います。

---

---

## これまでの活動経過

“奈良府民”といわれることに違和感を覚える人たちが集い、奈良の観光について話し合ったのがきっかけで、同じ思いをもつ人たちや研究者に呼びかけて、2004年3月に研究会として発足しました。

---

---

## 現在の活動内容

月1回例会を開き、身近なところでユニークな活動をしている人をゲストスピーカーとして招いて、奈良の新しい動きについて情報交換しています。いずれ、これらの動きをネットワークして、学びの回廊にしていくことを考えています。

---

この申請研究・プロジェクトについて、他に助成申請した、またはする予定の団体・機関等

申請団体・機関名	助成決定額または申請額	状況（印をつけてください）
	万円	助成決定・申請中・申請予定
	万円	助成決定・申請中・申請予定

---

## 本年度予算

年間総予算	:		約	70	万円
収入内訳	:	会費	(	27	)%
		一般寄附金	(	40	)%
		事業収入	(	33	)%
		民間助成金	(		)%
		行政補助金	(		)%
		その他	(		)%

---